

上豊内区「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」

地域の美しい魅力と歴史を地図に描いて再発見！



自分たちが暮らす地域の
素晴らしさを
地図づくり活動を通して
再発見



▲上豊内区が「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」活動で制作している「史跡お散歩 MAP」。リーフレットの地図として、上豊内の名所や史跡を写真やイラストで分かりやすく紹介。

●上豊内の美しい風景と歴史を 地図づくりの交流活動で再発見

上豊内区（赤星照雄区長99世帯）では、地域住民が共同で活動を行うことで区のコミュニティを活性化し住民の絆（きずな）を深めることを目的として、上豊内の美しい景観や地域に数多く残る名所や史跡などを紹介する「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」の活動に取り組んでいます。

高齢化率が40%を超える同区では、少子高齢化が深刻化し、地域住民同士の交流も減少している傾向が見られます。また、区で代々受け継がれ古くから続く甲佐神社の鳥居の大しめ縄作りなどの伝統行事も、指導者が高齢化し引き継ぐことが困難になって

いくことが心配されています。

そこで、現在の美しい田園風景や地域の歴史を後世に残すとともに、さらに地域の魅力を町内外の人に知ってもらうために、高齢者から子どもまで幅広い世代の地域住民が協力して史跡や観光スポットなどを紹介する地図や案内板を作成しています。

●生まれ育った地域の誇りと宝と絆 （きずな）への思いを込めた地図

5月下旬、同区の老人会や子ども会などの代表者や地域の有志などから構成される「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」実行委員会（村上邦夫委員長）14人を中心に地図制作を開始。どのような地図を作るかについて、地区の老人会や子ども会とそ